

2022 年度実施概要

学校名

竹富町立古見小学校

採択活動名

<p>地域と共に、地域で学ぶ海洋教育</p> <p>～ 故郷「古見の海」の自然と文化に誇りと愛着をもち、その持続可能を考え実行する ～</p>

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. カーナ採り体験	全	結ぬ海科
2. 節祭を見にいこう	全	結ぬ海科
3. SUP 体験	全	結ぬ海科
4. 地震津波避難訓練	全	結ぬ海科
5. 他の島を知ろう(黒島)	全	結ぬ海科
6. ゴミ0運動	全	結ぬ海科
7. 他の島を知ろう(船浮)	全	結ぬ海科
8. 学んだことを発信しよう(町長への提言)	全	結ぬ海科
9. 学んだことを発信しよう(授業参観で保護者や地域の方へ)	全	結ぬ海科
10. ニューヨーク・上原小学校との交流	全	結ぬ海科

取り組みの概要

古見小学校「結ぬ海科」 全体計画

日本国憲法 教育基本法 学校教育法 学習指導要領	学校教育目標	児童の実態 ○良さ ・古見の自然の中で、色々な体験活動を行っている ▲課題 ・自分たちで考え、解決しようとする意識が低い。
	故郷「古見」に誇りと愛着を持ち、 未来へはばたく児童の育成をめざして	
	教育目標	
	(1)進んでよく学びよく考える子 (2)心豊かで思いやりのある子 (3)体をきたえがんばりぬく子	

竹富町「結ぬ海科」目標

海洋教育を通して、我が島、我が町への理解を深め、誇りと郷土愛を育み、竹富町としての一体感を醸成するとともに、海（自然）と人が共生できる本町の地域づくりや持続可能な社会づくりに貢献できる子どもたちを育成する。

本校「結ぬ海科」目標

ふるさと 故郷 古見の海や川の自然、海洋文化に親しみ、その価値を実感することで、故郷への誇りと愛着を育て、それらを持続させようと努力する児童を育成する

地域と共に、地域の中で学ぶ「結ぬ海科」

各教科

道徳科
特別活動
総合的な学習の時間
外国語活動

何を学ぶか

「結ぬ海科」で育む資質能力

①海に親しむ	②海を知る	③海を守る	④海を活用する
古見に広がる豊かな海や川、山と、そこ由来の文化に親しむ経験から海への愛着を培い、海やその文化に進んで関わる児童を育成する。 学びに向かう力 <small>人間性</small>	古見の「海」や「海洋文化」を体験する中で、海と人・社会の繋がりを理解するとともに、海やその文化への誇りを培いながら課題をもたせ、探求する技能を育成する。 知識・技能	海を活用した様々な経験から、海を愛する心を育み、海や海洋文化を守り、持続させる活動に、主体的に他者と協力しながら関わる児童を育成する。 学びに向かう力 人間性	先人達はどの様に海を活用し、技能を継承させてきたのか。また、海と人々の暮らしや、海を通した世界との結びつきを理解し、それらを持続的に活用できるよう考え行動し、学んだことを他者によりよく伝えるよう表現できる児童を育成する。

どのように学ぶか

K2

何かを学ぶためには自分で体験する以上に良い方法はない
～アインシュタイン～

“think globally, act locally”
「地球的な視野で考え、身近なところで行動する」

“think locally, act globally”
「身近なところから考え、地球的に行動する」

海洋教育に探求的ストーリーをもたせる

たっぷり 実体験で 故郷「古見」へほこり・愛着形成

大好きな 故郷「古見」の自然・文化を持続させるためにできることを考え、実行する

学んだことをまとめ、地域や学校外へ発信する

前良川の海へジャップ

地福への発表会



カーナ採り体験



節祭を見にいこう



SUP 体験



他の島へ行こう(黒島研究所)



ゴミ0運動



サンゴ礁観察(船浮)



海洋教育発表



ニューヨーク交流